

目次

第1章 計画の目的と位置づけ、期間	1
(1)目的	1
(2)計画の位置づけ	1
(3)計画期間	1
第2章 住生活の現状と課題	2
(1)住生活を取り巻く現状	2
(2)近年の住宅政策の動向	19
(3)住生活を取り巻く課題	22
第3章 施策の理念、方針・目標	27
(1)理念	27
(2)方針・目標	27
(3)計画の実現に向けて	28
第4章 基本的な施策の展開	30
■3つの視点と7つの目標■	30
「人」からの視点	32
目標1 若年世帯から子育て世帯や高齢者世帯まで、安心して暮らせる住まいの確保や住まい方の実現	32
(1)若年世帯や子育て世帯が安心して子育てができる住まいを選択し、地域の中で安心して暮らせる住環境の実現	
(2)高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアを推進するため、将来の介護等に備えた住まいを確保し、地域の中で生き生きとした生活や活動ができる住環境の実現	
(3)子育て世帯や高齢者など多世代が集まり助け合える住まいや住まい方の実現	
目標2 重層的な住宅セーフティネットの構築による住宅確保要配慮者の居住の安定確保	38
(1)公営住宅、公的賃貸住宅の供給及び民間賃貸住宅への入居の円滑化により、自力で住宅を確保することが難しい方々が住まいを確保できる環境を実現	
(2)入居支援と入居者の暮らしを支える居住支援の連携により、だれもが安心して暮らせる環境を実現	
(3)低額所得の若年・中高年単身者等への対応と民間賃貸住宅の活用	
(4)身近な場所での相談体制の充実と、労働・福祉施策との連携	
「住まい」からの視点	42
目標3 良質な住宅ストックの形成	42
(1)大規模団地等の再生支援	
(2)長期にわたり使用できる優良な住宅の供給・流通の推進	
(3)快適で健康に寄与する住宅の普及促進	
(4)良質な既存住宅が市場で適切に評価され、住宅購入者等が安心して選択できる環境の実現	
(5)住宅ストックの適切な維持保全と有効活用の促進に向けた支援	
(6)良質な住宅ストック形成に向けた、多様な主体と連携・協働するネットワークの構築	

目標4	総合的な空家対策の推進	47
	(1)空家化の予防	
	(2)空家の流通・活用促進	
	(3)管理不全な空家の防止・解消	
	(4)空家に係る跡地の活用	

目標5	低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい住まいづくり	51
	(1)総合的な環境配慮の取組を促す、分かりやすい表示制度の普及	
	(2)省エネルギー性能が高い良質な新築住宅の供給促進	
	(3)新築住宅に比べストック数が多い既存住宅の省エネルギー改修等の普及	
	(4)住生活に関連した地域経済の活性化	

「住宅地・住環境」からの視点 55

目標6	災害に強く、安全・安心な住宅と住環境の形成	55
	(1)地震時の倒壊を未然に防ぐ住宅の耐震化の促進	
	(2)燃えにくいまち・燃え広がらないまちづくりの推進	
	(3)身近な道路や宅地等を災害に強くするための市街地環境の改善の推進	
	(4)今後発生が懸念されている大規模災害への備え	
	(5)地域主体の防災・防犯対策の推進	

目標7	住み慣れた身近な地域で、誰もが安心して暮らし続けられる、持続可能な住宅地・住環境の形成	59
	(1)地域における課題解決や魅力資源を活かしたまちづくり	
	(2)地域で暮らし続けられるための良好な住環境の維持や地域に必要な機能の導入	
	(3)「住む」住宅地から、多世代のための「住む」「活動する」「働く」を実現できる郊外住宅地への転換	
	(4)良質な住宅・良好な住環境等に関する住知識の普及啓発	
	(5)緑豊かな住環境の実現	

第5章 重点施策 64

人	テーマ1	民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネットの充実	64
	テーマ2	多世代型住宅の供給促進	66
住まい	テーマ3	大規模団地の総合的な再生	68
	テーマ4	地域の活性化・まちの魅力向上に向けた空家の流通・活用の促進	70
住宅地 住環境	テーマ5	持続可能な住宅地への再生	72
	テーマ6	市営住宅の再生への取組	74

参考資料

成果指標一覧	76
居住面積水準の概要	82
敷地の最低限度の概要	83
敷地の面積水準の概要	83
用語解説	84
策定の経緯	92